

茨城県西産直センター訪問

～支援企画を検討していきます～

9/18（金）茨城県西産直センターを訪問し、畑・作物の状況を確認しました。

1週間経過しても未だ冠水が続いている状態。せっかく水が引いてきたと思っていたら、9/17（木）の大雨で冠水状態に戻ってしまったとのこと。畑に入ろうとすると長靴が「ズボッ」と土の中に・・・。

ター菜は9月初旬に植えていた約5000株が流され、キャベツ・レタスも10月は大幅に減少。にんじんは作付全体の約2割が冠水し収穫量に影響する見込みです。10月に出荷予定の農産物のうち約3割で被害が発生し、さらに冠水をまぬがれた畑や水が引いた畑でも根腐れや病気などにより減収が予想されます。

生育も不揃いで全体に小玉傾向で、規格外なども多く発生すると予想されます。なんとか規格外・小玉企画などの取り扱いを検討する方向で進めていきたいと考えています。

農産グループ 野菜商務 坪山英樹

◆ 今後の供給見通し

品目名	10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬
有機レタス	○	○	○	○
有機リーフレタス	○	○	○	○
無無小松菜	▲	▲	○	○
無無にんじん	▲	▲	▲	○
トマト	▲	○	○	○
ブルームきゅうり	▲	○	○	○
なす	○	○	○	○
ピーマン	▲	○	○	○
小松菜	▲	○	○	○
ほうれん草	○	○	○	○
ター菜	—	—	—	×
ミニ白菜	▲	▲	▲	▲
キャベツ	▲	▲	▲	▲
レタス	▲	▲	○	○
ブロッコリー	▲	○	○	○
にんじん	▲	▲	▲	○
じゃがいも	○	○	○	○
玉ねぎ	○	○	○	○
りんご	○	○	○	○
みかん	○	○	○	○

○＝供給可 ×＝欠品の可能性大 ▲＝一部欠品の見込み

2015年産米への影響も懸念！！

◆7月の九州南部地方の長雨の影響で早期米（7月～8月に収穫されるお米）は作柄が悪く、収穫量が激減しました。

◆全国的にお盆過ぎの寒冷前線の停滞・多雨による天候不順により生育不順が見られます。米粒はやや小振りですが、軟らかくさっぱりとした食味のお米となっています。

また、今回の大雨による河川決壊により一部の水田が水没し、収穫量が減少しましたが、全国の収穫量と米の消費量、現状の米余剰の現状から、米が不足する心配はありません。

◆今後の新米供給スタート予定

- ・10月1回～＝秋田あきたこまち南外（産直） 産地：JA 秋田おばこ南外（秋田県産）
- ・10月2回～＝山形つや姫（産直） 産地：JA 鶴岡（山形県産）
- ・10月3回～＝新潟コシヒカリ弥彦（わかば） 産地：JA 越後中央弥彦支店（新潟県産）
- ・10月4回～＝魚沼コシヒカリ十日町（わかば） 産地：JA 十日町（新潟県産）
- ・11月1回～＝長野コシヒカリ（産直） 産地：JA 佐久浅間（長野県産）

★品質点検を強化していきます。でも、ご理解ください・・・。

今回も長雨と日照不足により、軟弱な生育になっています。このような状況からセットセンターでの検品を更に強化して臨みますが、お届けまでの間に急に傷みが行進することもあり、完全に見極めることは困難な実態です。お届け後、商品を点検いただき品質不良（腐れ、軟化）が発生していましたらコールセンターまでご連絡ください。お手数をお掛けいたしますが、どうかご協力をお願いいたします。